

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号 159	① 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		[B 除いた共通語]	(/)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0716.46	マツタ (90° 9' に 近く南之り)	
0737.94	ki'nm ⁷ wata <若い人町は mawata>	
0894.61	ma ⁷ wata <今>	nem ^m basii
1793.14	マツタ (75° 9' に 近く南きとれる)	
3705.82	nebasii <ねばねば ねばり>	
3725.72	ネバス (古)	マツタ
3727.81	同 上	
3733.88	ネバシ <古>	マツタ
3736.03	ネバス (古)	ノ
3768.50	ヒギマツタ <古>	ノ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	<input checked="" type="radio"/> 普通注記 <input type="radio"/> [B] 除いた共通語 <input type="radio"/> [C] 除いた特殊語	ページ (2)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
37 82. 98	nebasī (※)	mawada
37 83. 08	nē-basī e は狭い e	
37 93. 37	ヒキワタ (老)	マワタ
37 95. 19	ヒキワタ 「ヒ」は「G」より「J」に近い。	
37 97. 32	キキワタ (「キ」は「G」に近い)	
45 97. 66	ネハリ < ネハリは 着物 などに入れた 線を安定させるためのマワタである >	マワタ
46 09. 54	mawada < マワタと 3 時の 1 は ミカと いう >	
46 39. 69	nebasū < 着物に入るときなど nebasū o hikū というふうに使う >	mawata

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (3)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4653.02	* ʒi'kiwata <古>	ma'wata
4654.52	ʒikiwata <多>	
4663.92	ma'wata <多>	ki'nuwata
4675.45	mo:ta <古>	
4687.37	ʒikiwata ---- <常にはこれを多く用いる> ma'wata ---- 「外に言い方はありませんか。」に 社務答。	
4689.62	ʒigiwada <古>	ma'wada
4703.88	ʒigiwada <古>	
4712.16	ʒigiwata <引きのはり綿たがし>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	③ 普通注記 ページ
	159	
項目名		[B 除いた共通語]
真綿 165		[C 除いた特殊語] (4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4713.60	gigiwata <古>	
4714.22	gigiwada <古>	
4714.6P	* gigiwata (思はせない)なので一旦戻向 を打ち切り、次へ進み、第3 調査票が終ったのと同じ 戻向をしてこの答えを得た。	
4715.33	gigiwata <両者同じように使っている>(?) mawada	
4723.14	(φ)gigiwada → HIWI と認む。 Tak.	
4723.58	* gigiwada <7)の中に入れる時上に引きの が。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (5)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4734.56	mawada < 女人は ちと河か 地に 言、zuka した。 > (参考のため、被調査者夫人に きくと、 "gigiwada" と 言は 答えた。)	
4741.43	(工) nebasu < 田舎の人か 使ふ >	mawata
4743.95	# ? gikiwata	
4761.93	gikiwata < 昔か、使ふ >	mawata
4763.62	gi <i>k</i> iwata < 古 >	
4771.58	gigiwada < 仕事で 使ふ 時、名 >	mawada
4773.78	gi <i>k</i> iwada < 古 >	s
4780.64	gi <i>k</i> iwa ^{da} < 古 >	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (6)
項目名			
真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4781.86	mawada gi ki wada (mawada の 科 能 的 一 面 か gi ki wada で あ る)	
4790.74	gi gi wada < 著 >	mawada
5472.91	keba 蕨 の ぼ り の 毛 を 集 め た も の .	mawata
5506.68	tsuruwata < 上 等 の も の > keba < 下 等 の も の >	
5529.77	tsiribata (= ob は 破 裂 性 が 少 ない)	
5538.88	ワルツ < 古 >	マツ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (7)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5556.84	kakewata <古>	mawata
5564.79	tsurūwata 優先	↘
5567.46	<希> ネハヤ	マワヲ
5575.00	tsūriūba 優先	mawata
5579.42	ne'basī <古>	ma'wata
5584.37	tsurūwata 昔の言い方	mawata
5588.02	<共> マワヲ	ネハヤ
5595.20	tsurūwata 優先	mawata
5611.74	ツリワヲ (古)(女) ツリワは つり引き仲はり意味らしい。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (8)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5615.74	* [mɔ:ta]	
5625.91	[ma:ta]	mawata
5628.70	ヒキワタ 〈多〉	マワタ
5635.65	ケハ 〈マワタとは5かじ。マママとかマワタママを以てマカマカ〉	
5636.74	ケハ 〈ママオママシカヲトルトキツイタル〉	
5665.11	ケハ 〈クヌ、ホエ〉	マワタ
5687.32	ヒキワタ 〈普通〉〈あくて差で引き伸ばして使うがら。〉	マワタ
5687.86	{ キマワタ…… 〈話の様子では話しては2ではないマワタ〈普〉 〈話のしよとさくしよの如く。〉	

▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (9)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5688.37	u=79 <古>	マ79
5700.28	sikiwata <3<使う. 綿の上=3<お's>	mawata
5700.32	sikiwata <3>	s
5702.52	sikiwata <綿の上=3<お's u3>	
5722.37	sikiwada <4>	mawada
5723.36	sikiwada <古>	s
5771.42	siciwada (誘)	"
5780.57	sigiwada (誘)	s
5792.02	mar:ta 土は 殆ど di= 近い.	
6267.84	neba's — 糸に あはす	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	<input checked="" type="checkbox"/> 普通注記 <input type="checkbox"/> [B 除いた共通語] <input type="checkbox"/> [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 真綿 165			(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6339.35	ヌイ 〈古〉	ヌフ
6339.44	ヌイ 〈稀〉	ヌフ
6349.23	ヌイ 〈古〉	
6349.67	同上	ヌフ
6384.25	neba 〈古〉	mawata
6395.61	neba 宇部市 ヒラキ女身の妻君曰。 絹といふ nebito.	
6413.29	ma:ta 誘	
6416.25	mawata kebaは 宇部市 同90's と360.	
6417.85	tsuri...少量の場合, mawata...大量の場合.	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	① 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		[B] 除いた共通語	(11)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6466.36	マツタ 〈普〉	キマツタ
6476.93	マツタ) マツタか マツタ と同じで マツタ) マツタ は少い。	
6481.56	マツタ... 〈マツタとも言えりか? マツタは 着物と羽織の同なと?に小マツタ もマツタ。〉	キマツタ
6482.04	キマツタ (普)	マツタ
6491.65	keba 〈keba iteru の方に言う〉	
6520.79	キマツタ この方が丁寧な言い方。	マツタ
6535.73	tsuri 〈蒲団に入れたもの〉	maita

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (12)
	159		
項目名			
真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6542.58	マワワ マワワとは言わない。この地域ではかつて蚕を飼っていたという。	
6553.47	maata (ma:ta というより maata ときこえる)	
6569.12	kinunowata <多>	mawata
6571.15	NR <蚕を飼わぬのは知りぬ> (この地ではマワワという話あり)	
6624.13	mawata tekuzum は 多く飼わぬ。	
6625.66	ma:ta <3.2.2を(1)の時に用いるのみ>	kinuwata
6631.05	ma'ingawa <多く飼ふ>	
6667.81	誘 ma:ta, 誘 sikiwata <敷く時>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	① 普通注記	ページ
項目名		[B 除いた共通語]	
真綿 165		[C 除いた特殊語]	(13)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7218.09	ma'wata < 糸をいれもの >	ma'wata
	誘 ne'ba'si < 糸をいれもの >	
7218.58	ne'ba'si < 玉糸など上等な糸。伸ばし意 >	
	ma'wata < まゆで 作った糸の一切 >	
7238.40	ne'ba'si < 糸に列 >	me'ba'si
7239.24	ma'wata < ne'ba'si はきりもの >	
	誘 ne'ba'si < 糸をいれもの >	
	[ne'ba'si]	
7266.60	ne'ba'si (ニニマシ シの ゴとは たすた)	
7302.71	ne'ba'wata (79を引の糸。粘りをつけるため 279の糸をいれものにする 見られる。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	① 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		[B 除いた共通語]	(14)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7308.33	neba <古>	mawata
7312.11	nēba (マエに ついては keba)	
7321.93	ネハマツ (マツがなし)	
7324.24	bebā wata (neba でたからた)	mā:ta
7326.41	ma':ta <普通のマツ>	
	keba <その他について110を 取って作 た品物>	
	(セや下級か)	
7332.97	mawata (多)	nebawata
7338.48	mawata <精製したもの>	keba
7342.12	neba si (ネハ系の意なし)	mawata

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (15)
	159		
項目名			
真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7346.54	neba ¹ <古>	mawata
7352.64	マワタ, ネハシ (古, 老人用)	} <同一物>
7355.81	nema <マワタをうすくひきのはした場合>	
7361.82	neba ¹ si <ねほつくさ>	
7363.12	ネハシ (希)	マワタ
7363.59	マワタ <ネハシとはいわずい>	
7365.25	neba <希> <後におぼえた>	mawata
7372.03	ネハシ <ヤ、古>	マワタ
7374.15	[ネハシ]	マワタ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (16)
	159		
項目名			
真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7375.96	neba [mawata Futon ... /neba/で /wata/を包んで入れてある小とん.]	
7376.68	mawata <多>, neba [古]	
7377.27	maata < まわたの引伸はされたのを neba が引く ということあり > meba	
7377.72	neba <古>	mawata
7381.38	マタ < マタ, マワタ の 2 種類を区別せず ともに マタ というのが多い > → (?)	
7381.47	マワタ (着物に入れる), ネハシ (布団に入れる)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	㊦ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (17)
真綿 185			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7382.01	ne ^r ba si 〈昔〉	ma ^w ata
7382.58	ネハシ 〈古〉	マワタ
7382.93	ネハシ (マワタとウ) 昔も知 ^r たよ ^r に ^r 見 ^r た	
7383.98	キヌワタ 〈古, 希〉	マワタ, ネハシ
7385.61	neba 〈希〉	mawata
7385.84	neba 〈古〉	ゝ
7386.55	neba 〈普, 多〉	
7386.63	neba 〈昔~今〉	
7390.75	ネハシ (製造したの)	マワタ
7391.01	ネハ ^r シ 〈マワ希〉	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	① 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		[B 除いた共通語]	(18)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7393.62	ネハシ < ? や古 >	
7396.16	mawata (一般的) neba ... < 着物や布団に入れる綿の上に 敷く綿のわた。 >	
7411.61	nebawata < 古 >	
7425.82	ma:ta < 共 >	keba
7522.48	キマツ < 少 >	マツ
7659.53	ojari < 真綿のくすぶ解いてぬらした玉 >	
7659.62	muzoge < 粗悪なもの >	
8300.11	マツ < ネハシは 故には綿物である >	

↓
(?)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

頁 問 番 号	地 図 番 号	① 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (19)
	159		
項 目 名 真綿 165			

地 点 番 号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8301.19	ネハシ 〈 マワタをくるむもの。 マワタの悪いもので 作ら 製品 〉	マワタ
8302.19	ネハシ 〈 マワタを伸ばしたもの 〉	?
8303.47	マワタ, ネハシ 〈 材料. 藁杖として見た場合には マワタといふ. 西物名としては ネハシというように 区別して用 じとかある. 〉	
8303.84	ネハシ 〈 マワタを引っぱらってあるもの 〉	マワタ
8306.04	nebasī 〈 古 〉	
8306.62	同 上	mawata
8323.59	nebasī [古] , mebasī [新]	
8324.26	nebasī 〈 日常語 〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (20)
	159		
項目名			
真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8331.12	nebaʃi <希>	mawata
8331.17	nebaʃi <古>	;
8332.42	nebaʃi [古]	;
8332.84	nebaʃi <古>	ma:ta
8335.05	nebaʃi <古>	
8335.48	[ʃikiwata] (被調査者も認める。思はず さながらなのである。)	mawata
8341.94	nebaʃi <以前176に使用なくなったけれど、 mawataと半々位に使う。>	mawata
8343.74	nebaʃi <希>	mawata
8350.68	nebaʃi <古>	;

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (2/)
項目名 真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8351.41	nebaʃi <古>	
8352.29	giʷata <古名は nebaʃi と書いたが、 自分は使った字は無い。>	
8352.92	neʷbaʃi <古>	ma:ta
8353.68	giʷata <古>, ma:ta <昔か、使っているが giʷata が多くなった。>	
8354.29	nebaʃi <古>	mawata
8363.64	nebaʃi <希>	ma:ta
8373.08	nebaʃi <古>	?

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ	(22)
	.159		
項目名		[B 除いた共通語]	
真綿 165		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0238.55	mibaji <古>	ma:ta
0265.96	同上	mawata
0276.50	同上	"
1148.59	i:tuwata 最近体た	"
1221.47	mawata 新	
1223.91	? maju	
1232.29	? itu	
1232.75	? kaigowata	
1233.61	? wata <昔はたわら>	
1241.05	mawata <新>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (23)
真綿 165			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1241.49	mawata'ā <43>	
1241.96	同上	
1242.00	?mawata'ā (?)	
1242.22	N.R. ... [mawata]	
1242.26	ki:tu (?)	
1242.72	mawata <昔はなかつた>	
1251.27	wa:ta: ? <わたは ずいとない>	
1260.87	N.R. <綿は zi:tʃu>	
1261.16	maju ? 作つた。	
1261.32	mawata <43>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ	ページ
	159		
項目名		[B 除いた共通語]	(24)
真綿 165		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1261.80	mawata 〈竹〉	
1271.20	mawata 〈最近の輸入語〉	
2075.22	N.R. 〈最近入ってきたで 共通語マワタ を使い。他に方言としてはない。〉	
2076.25	minsi 〈希〉	mawata
2076.97	mawata 〈= 最近〉	
2076.98	mawata 〈最近入ってきたことば〉	
2086.03	minsu: 〈?〉	
2095.60	ma:bata (?)	
2140.49	? mawata 〈池内にはたいう? mawata と云う。竹いふことば。〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	A 普通注記	ページ
項目名 真綿 105		(B) 除いた共通語	(/)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
37 04.57	mawata [43]	nebasī
37 15.51	mawata [43]	nebasī
37 94.55	マワダ <43>	ヒキワダ
37 95.33	同 上	;
46 54.52	mawata <43>	şikiwata <3>
46 75.45	mawata <43>	mo:ta <古>
47 03.88	mawada <43>	şigiwada <古>
47 05.20	マワダ <43>	ヒキワダ
47 13.60	mawata <43>	şigiwata <古>
47 14.22	mawada <43>	şigiwada <古>

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	159	(B) 除いた共通語	
項目名	真綿 185	(C) 除いた特殊語	(2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4723.58	mawada <上>	*gigiwada <フシの中に入れる時、上は引きのほ'すから。>
4731.42	mawada <稀形>	nebasii
4731.59	mawata <形>	nebasii
4734.20	同 上	gigiwata
4750.76	mawada <稀>	φgigwada
4763.62	mawata <形>	gigiwata
4771.92	mawada <形>	sifwada
4780.64	mawada <形>	gigiwada <古>
5568.57	<英> マワ	マワ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	A 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		[B] 除いた共通語	(3)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5569.36	<#> マツ	マツ
5611.74	マツ (4)	マツ (古) (女) マツは マツ(き)仲はす 意味なし。
5672.67	mawata <#>	ma:ta
5677.28	* マツ	マツ
5696.68	mawata <改>	ma:ta
6349.09	mawata <上品>	muri
6349.23	マツ <4>	マツ <古>
6409.72	マツ <#>	マツ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号 159	A 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		<input checked="" type="radio"/> B 除いた共通語	(4)
		<input checked="" type="radio"/> C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6418.13	マツタ 〈英〉	マツタ
6439.01	同上	ス
6492.11	mawata 〈上〉	ma:wata
5509.38	マツタ 〈英〉	マツタ
6611.61	mawata 〈英〉	ma:ta
7330.31	マツタ 〈新〉	ネハシ
7344.45	mawata 〈新〉	nieba
7353.51	マツタ 〈新〉	ネハシ
7373.56	マツタ 〈新〉	ネハシ
7381.38	マツタ 〈音〉	マツタ <small>マツタの2種類を区別せず 時にマツタという字も多い</small>

↓
(?)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁 問 番 号	地 図 番 号	A 普通注記	ページ
	159	(B) 除いた共通語	
項 目 名	真綿 165	(C) 除いた特殊語	(5)

地 点 番 号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7385.38	mawata < 糸. 共 >	neba
7386.55	mawada (共)	neba < 普, 多 >
7386.63	mawata < 共 >	neba < 昔 ~ 今 >
7391.01	マワタ < 糸 >	ネハシ < や. 希 >
7393.62	同 上	ネハシ < ? や. 古 >
7400.11	mawata 希	neba
7411.27	mawata 共	keba
7411.61	mawata < 糸 >	nebawata < 古 >
7659.53	同 上	ojari < 真綿のくちを解 いて. ねじれたの. >

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 159	A 普通注記	ページ
項目名 真綿 165		[B] 除いた共通語	(6)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8305.40	mawata <ㄐ>	nebasj
8305.73	mawata <ㄏ>	ㄑ
8306.04	mawata <ㄐ>	nebasj <古>
8315.46	mawata <ㄏ>	* nebasj
8324.26	同 上	* nebasj <日常語>
8332.07	ma:ta <ㄐ.希>	nebasj
8333.92	ma:ta [稀]	ㄑ
8335.05	mawata <ㄐ.多>	nebasj <古>
8351.41	ma:ta <ㄐ>	nebasj <古>
8372.47	mawata <ㄑ>	nebasj